

【架空請求】

身に覚えのない登録料金や退会料金を請求された

よくある相談内容

- アダルトサイトを見ていると、急に「会員登録」と表示され、高額料金を請求された。
- 実在する事業者から「未納料金の支払い催促」メールが届いた。

一般的な手口例

利用者に「もしかしたら私に非があるのかもしれない。」と思わせて不安を煽り、支払う必要のない金銭をだまし取る手口が多く見られる。

【不当請求サイト】

利用者が Web サイトの動画やメール内の URL にアクセスすると、「登録された。入会金（登録料）が必要。」など、契約が成立したような画面を表示し、金銭の支払いを請求する手口。

アダルトサイトや出会い系サービスで多く、問い合わせしてきた利用者に対し、「個人情報を把握している。法的措置を執る。」などと不安を煽り、後ろめたい心理を利用する。

【架空請求メール】

実在する大手事業者を装って「有料サイト利用料が未払いである。」などと虚偽のメール（SMS）を送信し、問い合わせしてきた利用者の不安を更に煽り、金銭等をだまし取る手口。

携帯電話の個人識別番号や IP アドレス等をメール本文に表示し、あたかも住所等の個人情報は把握していると装って脅してくることもある。

対処法

【支払先別対処法】

- 指定の銀行口座に振込みした場合
振込みした金融機関へ被害連絡を行い、救済措置について相談する。
- 電子マネーコードで支払いをした場合
電子マネーの管理会社に被害連絡を行い、決済手続の停止を依頼するとともに、救済措置について相談する。

【請求画面を消すことが出来ない場合の措置】

- スマートフォンの場合
タブの削除や閲覧履歴の削除を行う。

- パソコンの場合
 - ・ 「ブラウザを閉じる」、「Ctrl+Alt+Del を同時に押してタスクマネージャーを起動し、タスクを強制終了する」、「再起動」を試みる。
 - ・ インターネット接続を切断する。
 - ※ 安心な対策として「システムの復元」や「初期化」を推奨するが、データが抹消されてしまうため、慎重な対応が必要

【警察への相談】

誘導されたサイトや請求画面、URL 等を保存するなど、関係資料を持参し、住居地を管轄する警察署に事前連絡の上、相談する。

被害に遭わないための対策

- ★ 心当たりがないものは、原則「無視」し、表示された電話番号、メールアドレスには問い合わせをしない。
- 受信したメールアドレスや案内された電話番号、サイトの URL をインターネットで検索し、被害情報等が報告されていないか確認する。
- 相手方が公的機関や特定の企業・団体名を名乗る場合、実在する正規の連絡先か確認する。
- ウイルス対策ソフトやフィルタリングソフトを導入しておく。
- OS やブラウザを最新バージョンにしておく。

参考サイト

前ページ「参考リンク集」を参照

- 消費者庁「架空請求にご注意ください！」
- 国民生活センター「消費者ホットライン・全国の消費生活センター等」